

平成29年度 小松市決算のあらまし

財政のすがたを分かりやすく

平成29年度の小松市の決算の情報をもとに、まちづくり・ひとづくりを進めるうえで「どのようにお金が使われたのか」「小松市の財政はどのような状態なのか」を分かりやすくお知らせします。

平成29年度決算の特徴

「NEXT10年ビジョン」の実現をめざし、「くらしの充実」や「まちの発展」に向けた施策をスピードをあげて展開しました。あわせて、「健全な財政」をめざし、将来負担の軽減に努めました。

◆くらしの充実

- ・こども医療費窓口無料化の通年化など子育て家庭の経済的な負担軽減
- ・市民生活に直結した「(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンター」の建設着工 etc.

◆まちの発展

- ・ひとづくりの拠点「公立小松大学」の平成30年4月開学に向けた準備
- ・環境王国こまつの交流拠点施設「せせらぎの郷」のリニューアル etc.

◆健全な財政

- ・市債残高については、全会計で約22億円、7年間累計で約190億円の改善

もくじ

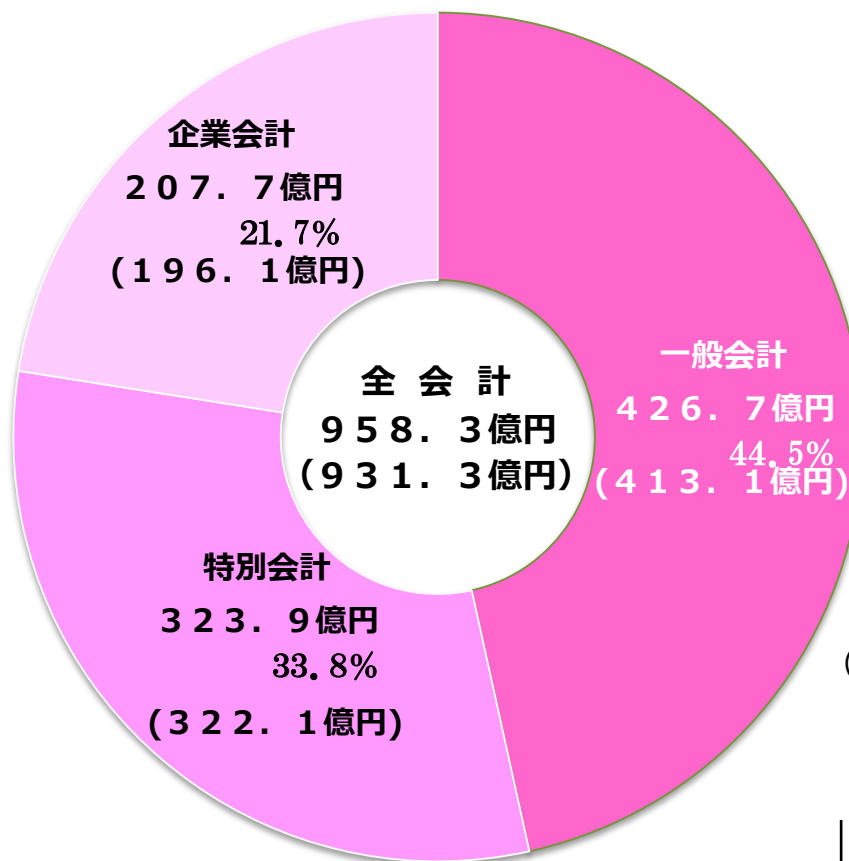
決算って何？	・・・ 1ページ
1年間でいくらお金を使ったの？	・・・ 1ページ
一般会計の内訳は？	・・・ 2ページ
何にお金を使ったの？	・・・ 3ページ
歳入(収入)の内訳は？	・・・ 3ページ
歳出(支出)の内容は？	・・・ 5ページ
歳出(支出)の目的別の使い道は？	・・・ 7ページ
特別会計・企業会計の内訳は？	・・・ 8ページ
市債(借金)はいくらあるの？	・・・ 9ページ
貯金はいくらあるの？	・・・ 9ページ
小松市の財政水準は？	・・・ 10ページ
主な事業の内容	・・・ 11ページ



決算って何？

1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）に予算で決められたお金の使い道に沿って、実際にどのようにお金が使われたかを表すものです。

1年間でいくらお金を使ったの？



() 内は前年度数値



市民1人当たり
882,559円

市の会計は、仕事の目的や種類によって大きく3つに分かれています。

[一般会計] … 税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。

[特別会計] … 国民健康保険、介護保険などの事業は、保険料などの市税以外の特定の収入によって運営するものであり、一般会計と分けて経理した方が適当です。このような場合に設置するのが特別会計であり、小松市では**5つの特別会計**を設置しています。
(平成29年度から簡易水道を企業会計の水道に、農業集落排水を下水道へ会計を統合しました。)

[企業会計] … 水道や下水道、病院は、料金収入を主な財源として民間の企業活動に近い仕事をする事業です。このような場合に設置するのが企業会計であり、小松市では**3つの企業会計**を設置しています。

行政の仕事は広範多岐にわたるので、特定の事業の会計を分けることによって収支を明確にしています。

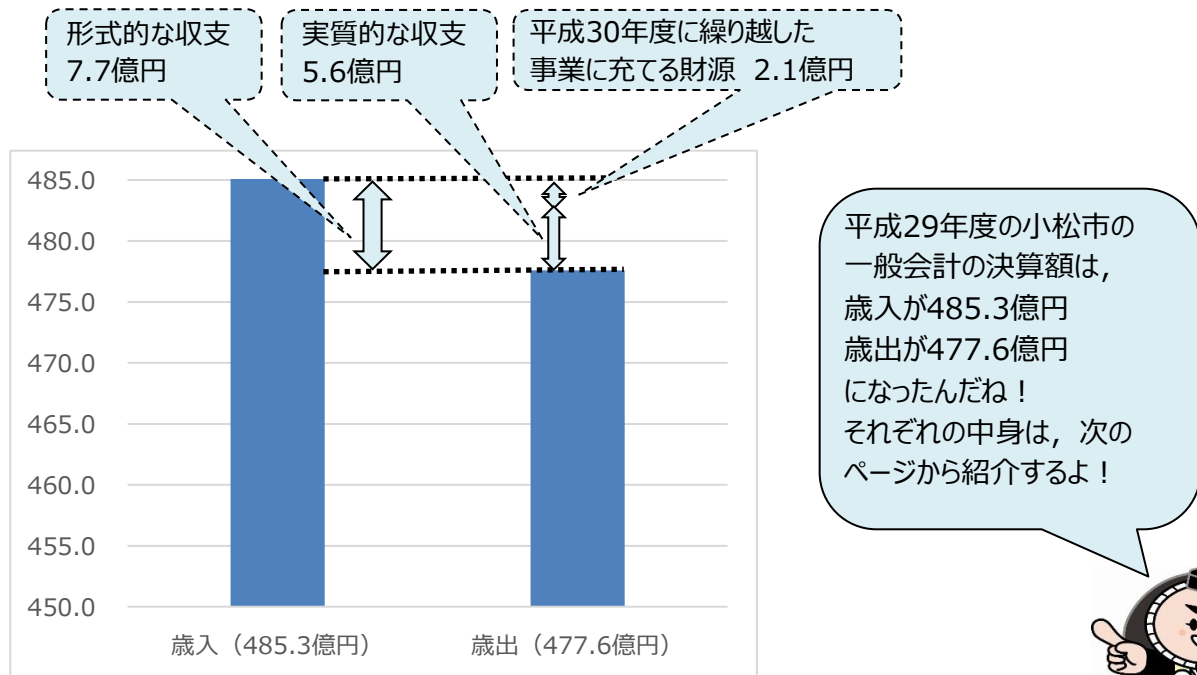
一般会計の内訳は ⇒ 2 ページへ

特別会計・企業会計の内訳は ⇒ 8 ページへ

一般会計の内訳は？

(単位：億円)

項目	金額	説明
歳入総額 A	485.3	年間の収入総額
歳出総額 B	477.6	年間の支出総額
歳入歳出差引額 C (=A-B)	7.7	形式的な収支
翌年度繰越額 D	2.1	平成30年度に繰り越した事業に充てる財源
実質収支額 E (=C-D)	5.6	実質的な収支

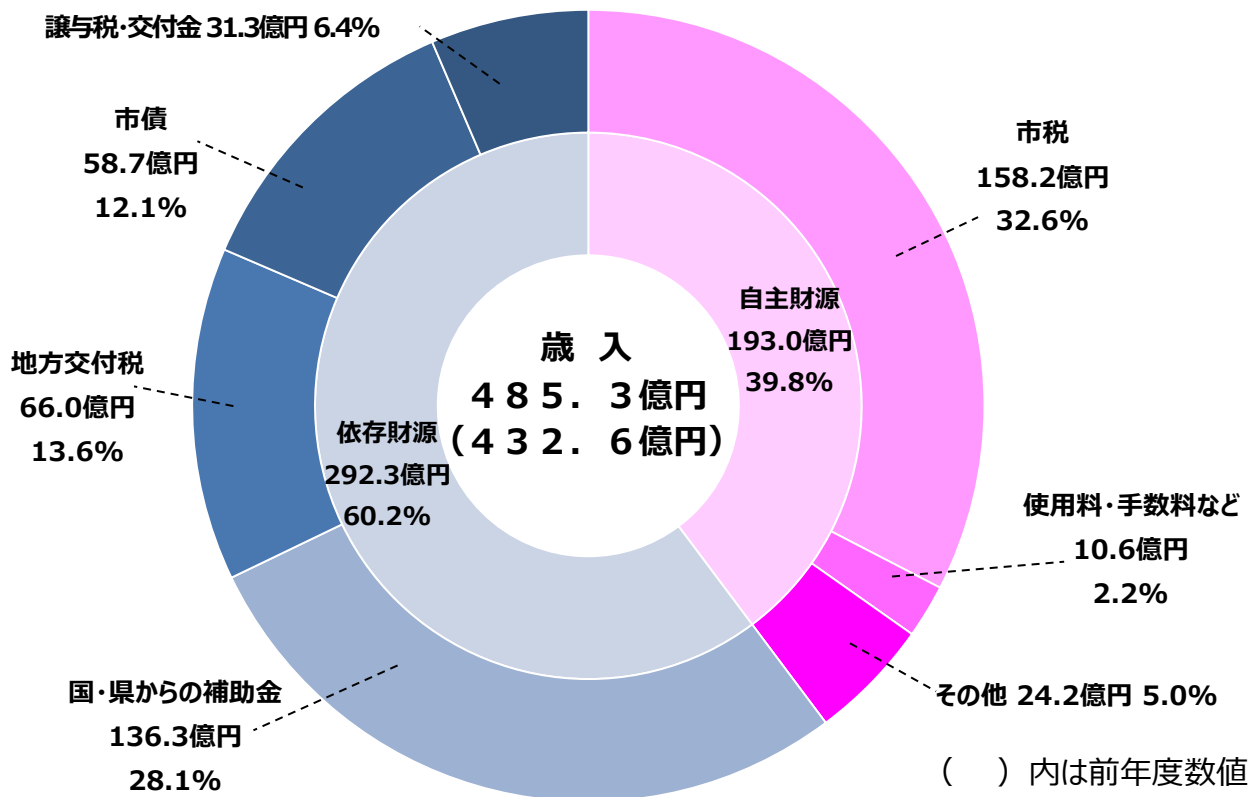


実質収支額は、5.6億円

- 歳入歳出差引額（形式的な収支）＝歳入総額－歳出総額
単純な歳入と歳出の差引で、7.7億円のプラスとなっています。
- 翌年度繰越額
平成29年度中に完成しなかった工事代金など翌年度へ繰り越した事業のためにとっておかなければいけなくなったお金が2.1億円あります。
- 実質収支額（実質的な収支）＝歳入歳出差引額－翌年度繰越額
歳入総額と歳出総額の純粋な差引きである形式的な収支から翌年度繰越額を差引いた金額のことです。平成29年度は5.6億円のプラスとなっています。
- 実質収支額の使い道
実質収支額の2分の1以上を年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金へ積立て、残額を翌年度に行う事業の財源としています。

何にお金を使ったの？

歳入(収入)の内訳は？



歳入の内容

平成29年度の収入の中で一番大きな割合を占めているのは皆さんが納めている市税（前年度比3.2億円増）で歳入の約33%を占めています。

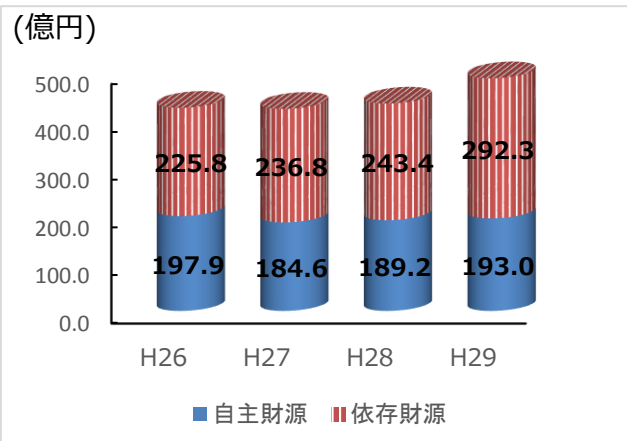
前年度と比較すると、全体として**52.7億円**増額しています。

大きな理由としては、エコロジープークこまつ・クリーンセンターの建設本格化等により国・県からの補助金が32.2億円・市債が10.2億円増、除雪対策に対する特別交付税の増額により地方交付税が4.7億円増などがあげられます。

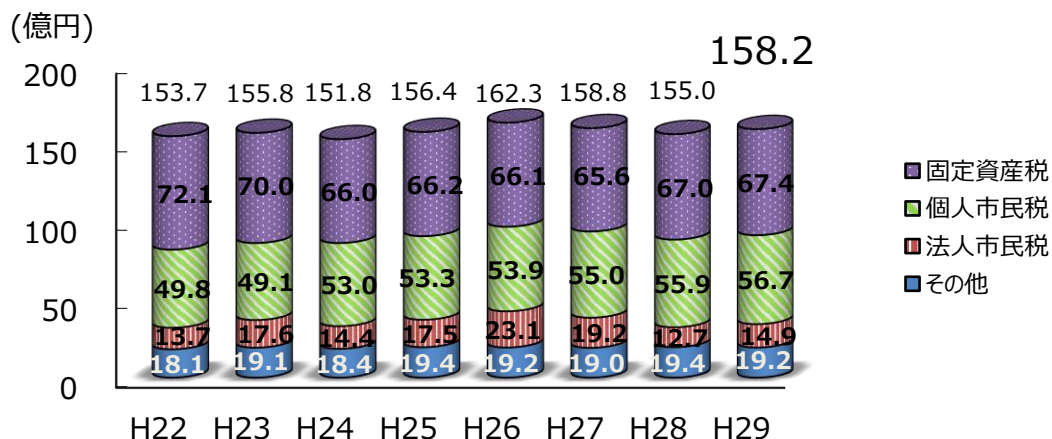
◇自主財源・依存財源とは

- 自主財源
市が自主的に集めることができる財源
市税，負担金や使用料，繰入金など
- 依存財源
国や県により決定される財源
国・県支出金，地方交付税，地方譲与税，市債など

小松市では自主財源の確保に努めながら、国や県などを含めた様々な財源を活用し、まちの発展やくらしの充実を図っています。



市税の推移を見てみよう



グラフは、市税の推移を示しています。平成21年度以降、リーマンショック後の景気後退により150億円～160億円台を推移しています。

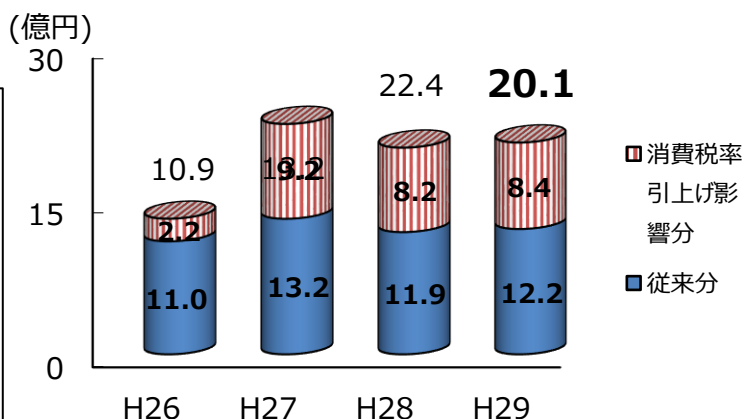
平成29年度は雇用・所得環境の改善による個人住民税の増額、法人税率の引下げの影響を上回る業績回復による法人市民税の増額、住宅需要の増加等により固定資産税が増額となり、市税全体では、前年度と比べて**3.2億円増収**となりました。

◇地方消費税交付金とは



間接税である消費税のうち一部は、「地方消費税交付金」として市へ交付されます。

平成26年4月からの消費税率引上げ影響分は、下記のように社会保障の充実・安定化に向けた取組みに使うこととされ、交付金が増額されています。

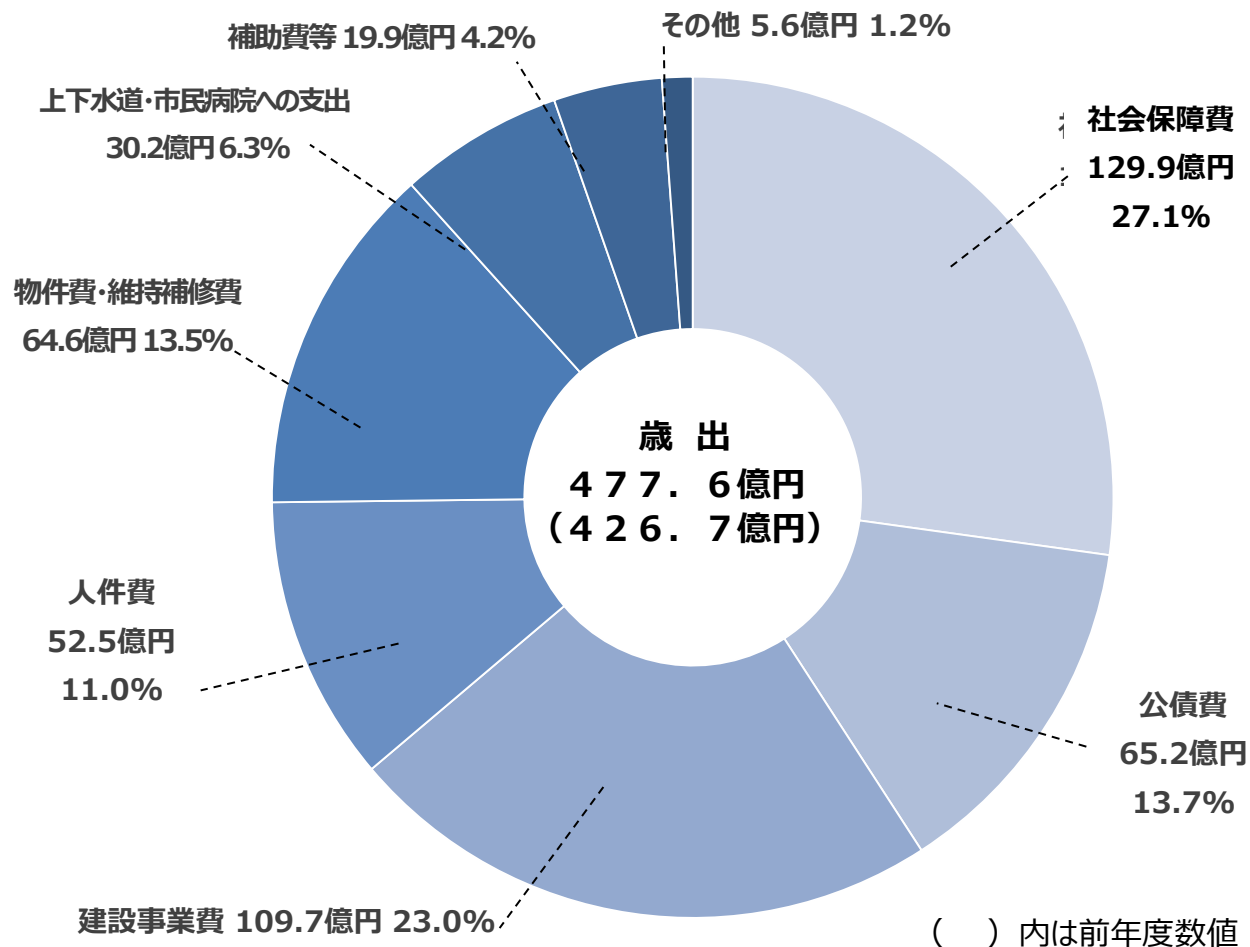


地方消費税交付金の使途の内訳について

(単位：億円)

対象経費	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	市債	その他	地方消費税交付金充当額	その他
社会福祉	103.9	62.4	0.8	2.0	4.1	34.6
社会保険	32.6	6.2	0.0	0.0	2.8	23.6
保健衛生	17.1	1.6	0.1	0.8	1.5	13.1
合 計	153.6	70.2	0.9	2.8	8.4	71.3

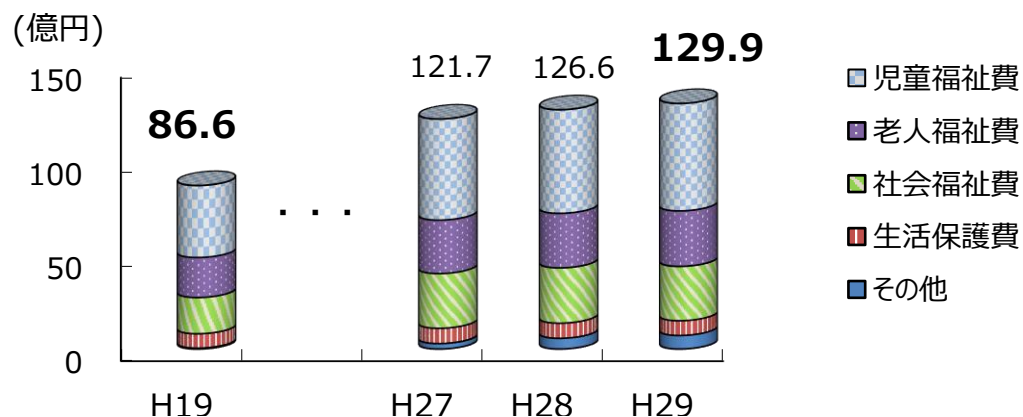
歳出(支出)の内容は？



性質別では、子育て・医療・介護などの「社会保障費」に約27%のお金が使われているよ！



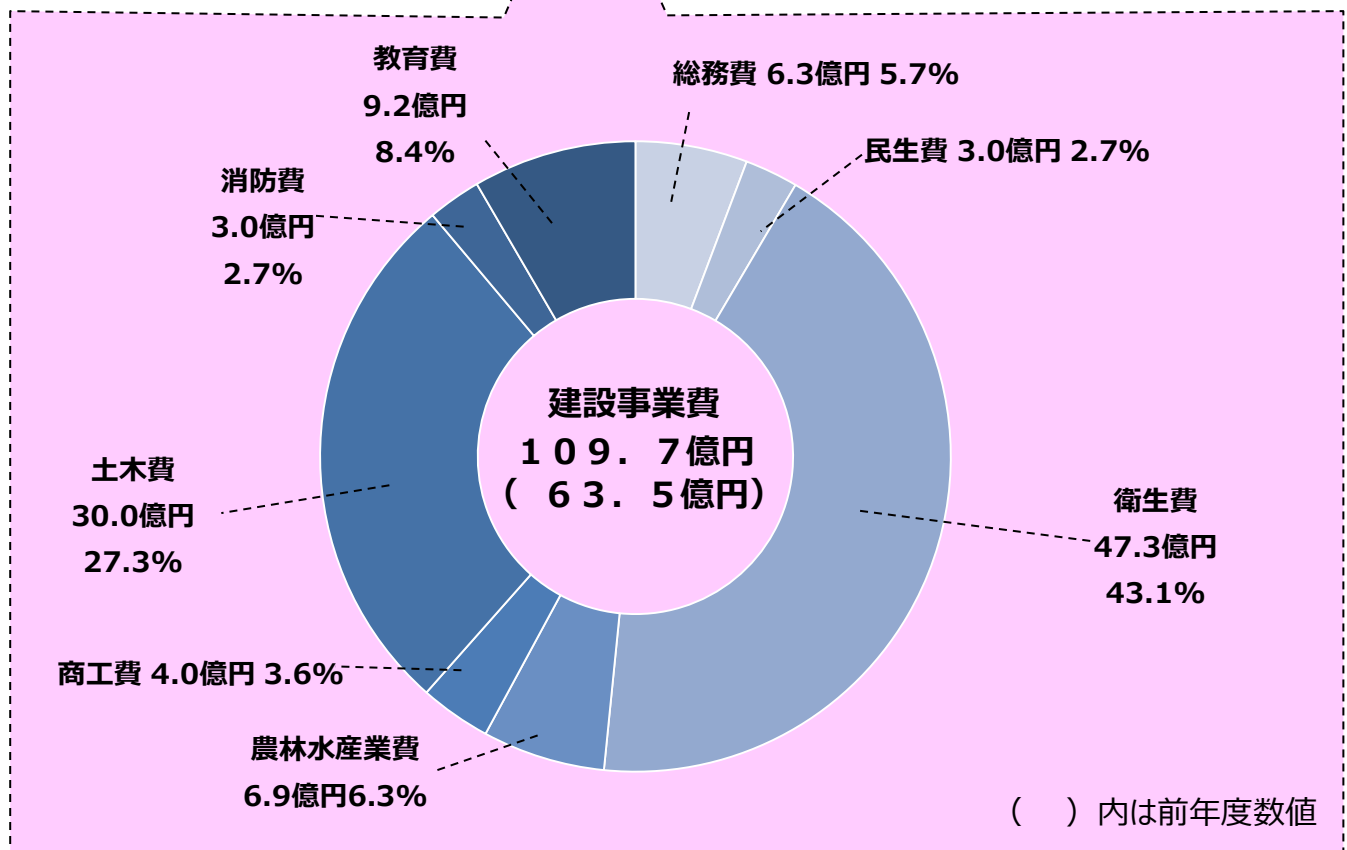
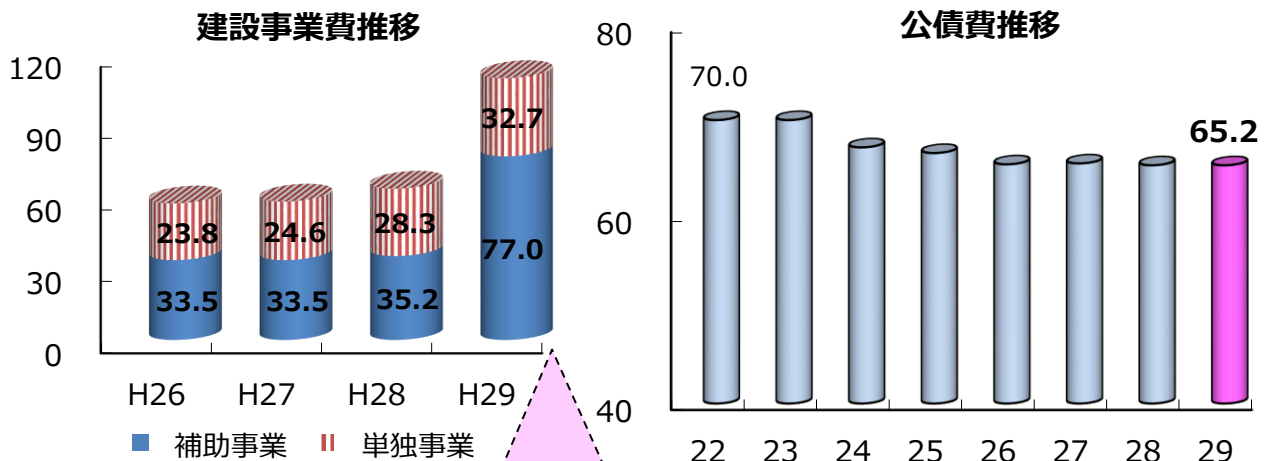
社会保障費の推移



社会保障費は、少子高齢社会が進む中、年々増加しており、10年前と比べて約1.5倍に、前年度と比べて**3.3億円増加**しています。

認定こども園の充実、保育士の処遇改善などを図りました。

建設事業費は増加，公債費は減少傾向

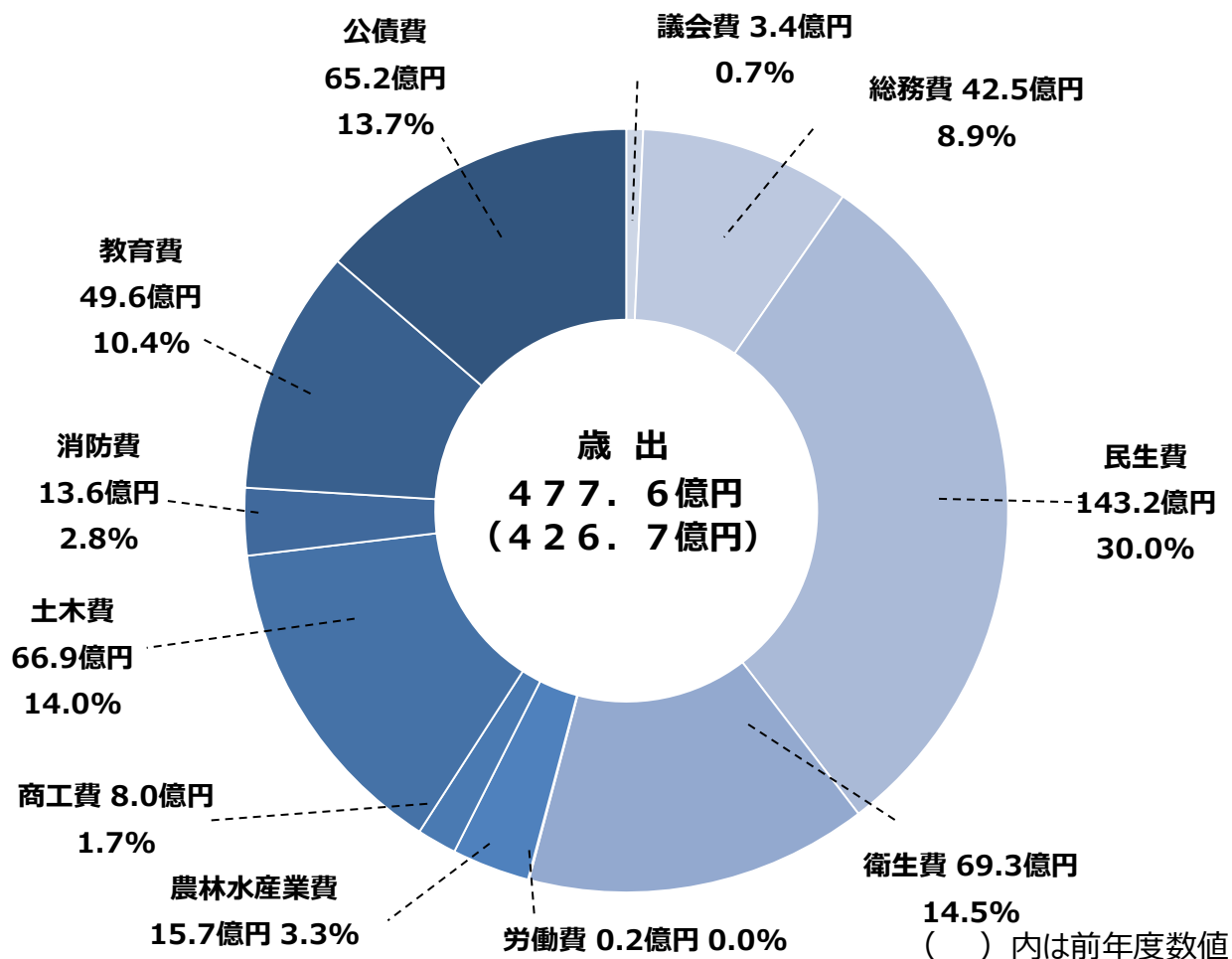


平成28年度の建設事業費の目的別の内訳は，上のグラフのとおりとなっています。
 特徴としては，市民生活に直結した「エコロジーパークこまつ・クリーンセンター」建設(衛生費)，小松駅周辺施設整備(土木費)などを行い，前年度と比べて**46.2億円増加**しました。

公債費（建設事業等施工のため借入した借金の返済）は，平成22年度の70.0億円をピークに減少傾向となっており，平成29年度は**65.2億円**となっています。

今後も市債（借金）の発行を抑制しつつ，まちの発展・くらしの充実に取り組みます。

歳出(支出)の目的別の使い道は？



目的別では、福祉にかかる経費である「民生費」に一番多くのお金が使われているね！



目的別の主な支出の内容

議会費・・・議会の運営
 総務費・・・市政の運営，税金や戸籍の事務など
 民生費・・・医療や介護，子どもや障がいのある方，お年寄りへの福祉サービスなど
 衛生費・・・母と子やお年寄りの保健の充実，ごみ処理など生活環境の整備
 労働費・・・働く人への支援
 農林水産業費・・・農林水産業，中山間地域の振興
 商工費・・・商工業振興，産業の育成・誘致 など
 土木費・・・道路・公園・住宅などの管理・整備
 消防費・・・消防の活動，防災整備
 教育費・・・学校教育・生涯学習・文化振興 など

特別会計・企業会計の内訳は？

特別会計（5会計）

（単位：億円）

会 計 名	収 入	支 出	差 引	事 業 内 容
国 民 健 康 保 険	121.0	118.7	2.3	自営業者や退職者などの医療保険
介 護 保 険	97.9	95.8	2.1	施設介護，在宅介護等の保険
後期高齢者医療	13.9	13.6	0.3	広域連合による75歳以上の医療保険
産 業 団 地	5.4	5.4	-	産業団地の造成
公 債 管 理	84.1	84.1	-	借金の返済管理
合 計	322.3	317.6	4.7	

企業会計（3会計）

（単位：億円）

会 計 名	収 益 的 収 支			資 本 的 収 支		
	収 入	支 出	差 引	収 入	支 出	差 引
水 道	27.1	22.1	5.0	1.7	8.7	▲ 7.0
下 水 道	42.3	41.6	0.7	41.3	62.4	▲ 21.1
市 民 病 院	85.3	84.6	0.7	6.2	11.6	▲ 5.4
合 計	154.7	148.3	6.4	49.2	82.7	▲ 33.5



企業会計のしくみ

企業会計には2つの財布があります。

【収益的収支】 … 事業を運営するために1年間にかかった経費と収入を管理する財布。事業の黒字・赤字はこの財布の中身を見れば分かります。

【資本的収支】 … 事業の運営とは別に，施設の建設や設備投資の収支をやりくりする財布。借金の借入・返済もこの財布で管理しています。

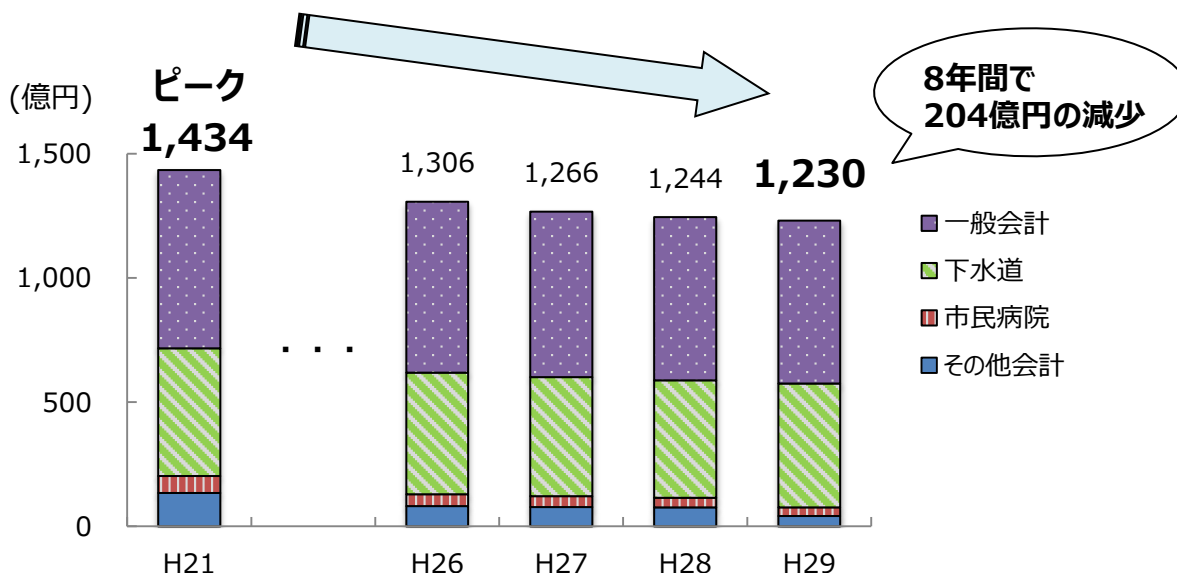
このほかに，企業会計には内部留保資金というものがあります。内部留保資金とは事業を運営して生じる純利益や現金支出の伴わない費用から生じるものです。

上の表では，資本的収支が赤字になっていますが，不足分は内部留保資金で補っています。

市債（借金）はいくらあるの？

小松市の市債（借金）の残高は、平成21年度の1,434億円をピークに借入れの抑制や繰上返済を行ったことなどにより、平成22年度以降は減少に転じています。

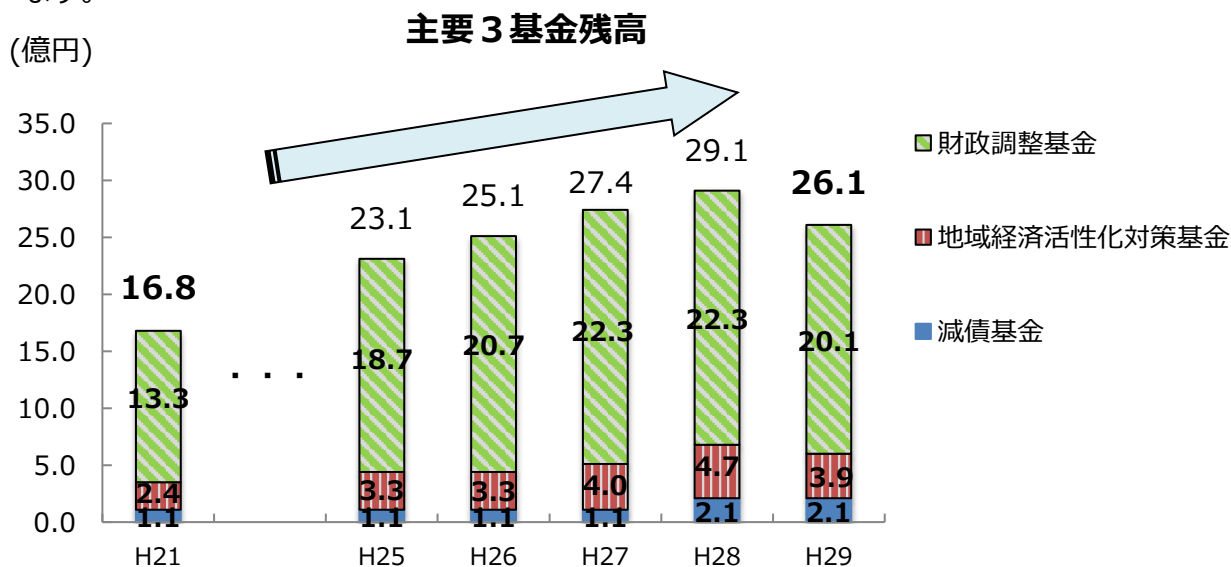
平成29年度は市債残高を約**14億円改善**し、全会計の残高は約1,230億円となり、10年間で200億円圧縮するという目標を前倒しで達成しています。



貯金はいくらあるの？

小松市の貯金（主要3基金）の残高は、平成20年秋のリーマンショックの影響による歳入不足の補填や、市債の繰上返済を優先的に行っていったため、平成23年度末まで20億円を下回っていました。平成29年度はエコロジープークまつ・グリーンセンター建設費等の主要事業費の財源として3.0億円取り崩しを行いました、目安としている24億円を確保し、平成21年度末比**9.3億円増**となっています。

今後も、突発的な財政需要に対応できるよう貯金を確保しつつ、将来負担軽減へ取り組みます。



小松市の財政水準は？

平成29年度の普通会計決算を全国の類似都市(30市)や県内11市と比べてみましょう。

財政力の強さ（財政力指数）

小 松 市	0.710	小松市の順位
類似30都市平均	0.822	第23位 →
県内11市平均	0.552	第3位 →

※財政力指数

必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指数。数値が大きいほど財政力が強い。

収入に対する借金返済の割合（実質公債費比率）

小 松 市	16.0%	小松市の順位
類似30都市平均	5.6%	第30位 ↑
県内11市平均	11.2%	第10位 →

※実質公債費比率

収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が重い。

財政の弾力性（経常収支比率）

小 松 市	94.6%	小松市の順位
類似30都市平均	90.6%	第21位 ↑
県内11市平均	93.2%	第8位 ↑

※経常収支比率

市税などの経常的な収入に対する経常的な経費の割合。数値が大きいほど財政の弾力性が低く、自由な政策に使えるお金が少ない。

収入に対する借金残高の割合（将来負担比率）

小 松 市	162.0%	小松市の順位
類似30都市平均	26.1%	第30位 ↑
県内11市平均	70.2%	第11位 →

※将来負担比率

収入額に対する市債などの負債残高の割合。数値が大きいほど将来支払う負債の残高が多い。

◎矢印は前年度との比較です

※類似都市とは？

小松市と同じ類型（人口が10万人以上15万人未満、産業構造が第2次産業＋第3次産業が90%以上かつ第3次産業が65%未満）の都市で、全国に30団体あります。

類似都市と比べると…

小松市は、収入に対する借金返済の割合を表す「実質公債費比率」、借金残高の割合を表す「将来負担比率」は減少傾向にありますが、類似都市や県内11市と比較して、高い水準となっています。

今後は国や県などからの補助金の活用や民間活力の導入などを図りながら、まちを発展させ、税収を確保するとともに将来負担の軽減を図ることも重要な課題です。

平成29年度に行った主な事業をお知らせします

単位：千円

1. 日本一「おもしろい」まちに

▶ 小松駅周辺は、みんなの夢を育む学びのエリア

- 公立小松大学設立関係経費 449,276
平成30年4月開学のための経費
- ひとつものづくり科学館魅力アップ費 37,540
理科科学大好き青少年の育成拠点施設の魅力アップ
- 小松駅南ブロック複合施設建設助成費 180,000
Komatsu A×Z Square(こまつアズスクエア) 建設に対する補助



Komatsu A×Z Square
公立小松大学

▶ 大交流時代へ、アクセス力向上

- 北陸新幹線建設推進費 102,457
北陸新幹線の小松開業(平成35年予定)建設負担金
- 北国街道無電柱化整備費 23,037
龍助町から西町までの無電柱化推進
- 向本折飛行場線(向本折大橋) 308,907
橋りょう耐震工事(平成30年竣工予定)
- 幸八幡線整備費 28,707
国道305号と8号を繋ぐ道路整備のための調査・測量・用地取得



▶ 華咲く和文化が世界を魅了

- 珠玉と石の文化推進費 8,623
日本遺産認定「珠玉と石の文化」をプロモーション
- 曳山250年記念事業費 7,900
記念本制作、九谷焼モニュメント「五彩曳山」
- 全国子供歌舞伎フェスティバル開催費 15,000
平成29年5月4日～5日開催
ゲスト団体：浅草こども歌舞伎会(東京都)、松の会こども歌舞伎(三重県)
- (仮称)九谷焼創作工房整備費 70,200
企業版ふるさと納税を活用し、若手育成と交流人口拡大の拠点施設整備への助成
- 仙叟屋敷ならびに玄庵開庵20周年記念事業費 4,536
開庵20周年を記念し、記念講演・茶会・特別展を開催



九谷焼
モニュメント
「五彩曳山」

2. 日本一「たくましい」まちに

▶ 北陸ダントツのものづくりのまちに

- **経営モデルチェンジ支援費** 1,953
省エネルギー化や新たなビジネスモデル導入などを支援 2件
- **産業団地造成費（正蓮寺エリア）** 542,373
開発面積 約18ha, 分譲面積 約7ha
- **特別道路整備費** 177,268
北浅井沖町線, 山代橋川線 ほか
- **産業人材育成費・産業競争力強化費** 5,722
経営管理者・技術者・後継者等育成支援 15件, 販路開拓支援 1件



▶ 女性・シニアの活躍で、誰もが活躍できるまちに

- **ワーク・ライフ・バランス推進費** 5,776
育児休業・介護休業の取得支援 16件, ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣
- **女性起業サポート費** 1,267
女性起業チャレンジ塾, ウーマンマネジメントスクール開講
- **求職者キャリアアップ等支援費** 225
ホームヘルパー資格取得支援 7件



▶ まちに、ひとに、地球にやさしい「スマートシティ」に

- **エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設費** 4,630,296
新ごみ処理施設建設工事など（平成30年竣工）
- **ごみダイエツト50%費** 46,724
小松市指定ごみダイエツト袋, 生ごみ処理機助成等によるごみ減量化
- **スマートリサイクル33%推進費** 19,120
3-Back推進, 剪定枝・古着・廃食油リサイクル推進



エコロジーパークこまつ クリーンセンター外観

▶ ICTでもっと便利, 安心, 楽しいスマートエンジョイライフ

- **Wi-Fiスポット整備費** 1,914
屋内6カ所整備
- **施設利用・参加型ポイント導入費** 3,559
FeliCaポケット搭載のICカードを利用した小松市独自ポイントの運用
公共施設13カ所, 民間事業者10カ所



3. 日本一「こちよい」まちに

▶ 子どもたちの笑顔のために

- **こども医療費** 407,079
18歳未満の子どもの医療費の自己負担分無料
- **子育て支援総合コーディネート費** 67,264
子ども・子育て安心ネットの充実、かぶっキーランド運営支援等
- **不妊・不育治療支援費** 16,261
一般不妊治療・特定不妊治療・不育治療に対する助成
- **あんしん保育推進費** 10,208
フェンス防犯カメラ設置



平成29年12月1日
かぶっキーランドオープン

▶ 家族みんながこちよい、「予防先進」のこまつ

- **がん対策費** 80,066
胃カメラによる胃がん検診を追加
- **予防接種費** 218,411
定期予防接種実施 延44,875人、任意予防接種助成 11,460人
- **防災行政無線整備費** 214,149
有線放送に替わる防災情報通信システムの整備(完了)
- **防災体制強化費** 18,977
災害に備えた、備蓄品の購入、総合防災訓練の実施
- **高規格救急車購入費** 30,382
中消防署東出張所救急車更新



▶ 「花・水・樹」人びとの心を豊かに

- **(仮称)栗津温泉交流広場整備費** 374,938
開湯1300年を迎える栗津温泉の新たな交流スペースの整備
- **未来につなぐ森林づくり推進費** 2,551
荒廃林整備、森林整備体験
- **フローラルこまつ推進費** 16,696
花と緑あふれるまちを共創で未来へつなぐ



▶ 住みよさのランクアップを

- **木曽町住宅建替費** 196,012
市営木曽町住宅の建替え(設計・工事)
- **除雪費** 619,006
平成30年2月に発生した豪雪等への対応

4. 日本一「はつらつ」としたひととまちに

▶ 大好きな学校で元気に楽しく学ぶ子どもたち

● 小中学校体育館リニューアル費 28,008

体育館：月津小，丸内中，安宅中

● ICT教育環境推進費 38,800

タブレット型PC・無線LAN整備，ICTインストラクター配置

● 「新しい学校づくり」推進費 5,891

松東みどり学園（金野小，西尾小，波佐谷小の統合）開学のための施設整備・校歌作成等



▶ 世界とふるさとで活躍するグローバル人材の育成

● 中学校「イングリッシュ・テーブル」開設費 9,000

松陽中，御幸中，南部中，国府中，中海中，板津中に英語のコミュニケーションルームを設置

● 国際都市こまつWelcome費 1,790

外国人受入環境整備補助 5件，通訳ボランティア育成等

● カヌー競技施設整備・拠点強化費 128,445

トレーニングセンター等の木場潟カヌー競技場整備，医・科学センターとトレーニング環境の充実

● 親水スポーツ公園整備費 56,782

前川・梯川合流地点に整備する親水スポーツ公園設計・工事

▶ 地域コミュニティの活力で，はつらつとしたひとづくり

● 市民センター改修費 447,193

空調改修，バリアフリー工事，防災拠点整備

● 学習等供用施設建設費 165,376

東陵・四丁・上牧・鶴ヶ島地区整備

● 第一地区コミュニティセンター改修費 154,763

空調設備更新，照明LED化，マルチトイレ等改修



市民センター バリアフリー工事後

▶ 未来へつなぐたくましい財政

● 減債基金積立金 100,067

後年度の一般会計市債の償還のため，減債基金に積立て

もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別
案内（財政課）のペー
ジをご覧ください。

[発行]平成30年10月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL：0761-24-8144（直通） FAX：0761-24-8190
メール：zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP：http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/